

「個人探究学習」に取り組んでいます

みなさん、こんにちは。

宮園小学校では、「自立した学び手」の育成に向けた特色ある教育活動として「自由進度学習」に取り組んできたことについては、これまでも折に触れお知らせしてきました。

※本校の「自由進度学習」の取組については、講談社のコクリコという Web メディアに特集されています。「宮園小学校 自由進度学習」で検索していただければ見つかると思いますので、是非ご一読ください。

今年度から、本校では、自由進度学習に加え、「自立した学び手」の育成に向けたもう一つの柱の学習として、総合的な学習の時間を中心とした「個人探究学習」に全校的に取り組んでいます。この「個人探究学習」は、児童一人一人が自分の興味・関心などに応じた学習課題や学習活動に取り組むもので、その学習を通して、「探究の方法を学ぶ」「学び方を学ぶ」ことをねらいとしています。



「自由進度学習」と「個人探究学習」、この二つの学習の違いを極簡単に言えば、全ての児童が到達すべき一定の目標があるかどうかの違いということができます。「自由進度学習」では、全員に共通した教科（単元）の目標・内容がありますが、「個人探究学習」には、共通する目標・内容はありません。



「個人探究学習」は、自分が興味や関心を持っていることから課題を設定し、その子なりの視点やこだわり、進め方で探究の計画を立て、実際に探究し、その探究（学び方）を振り返ることで、「探究って面白いな」「課題を調べたいときは、こういう方法で調べればいいんだな」「自分は、こういうことに興味や関心があるのだな」といった気付きや学びを体得してほしいと考え、設定しています。「個人探究学習」は、今年度一年間で、時期を分けて2回（1回は10時間程度）取り組む予定にしています。なぜ2回取り組むかといえば、1回目の自分の探究活動を振り返り、それを2回目の探究学習に生かして、探究の質を高めてほしいと願っているからです。

さて、夏休みをはさんで、5年生と6年生が個人探究学習に取り組みました。今週の時点で、6年生は探究の真っ最中で、5年生は自分の探究したことについての発表会を行いました。私も5年生の発表会を一部聞かせてもらいましたが、その様子については次回の本稿でご紹介します。